

はぐくむ

No.8 (平成16年)
社会福祉法人鶴風会
東京小児療育病院
みどり愛育園
西多摩療育支援センター
後援会
— 連絡先 —
東京都武蔵村山市学園4-10-1
電話 042(561)2521(代表) 〒208-0011
Eメール terh@kakufuh.com

理念

私達は
障害児者の生命機能の維持
向上と生活援助のための誠実な
積極的取り組み障害児者と
その家族を支援します

- 1頁 理事長ご挨拶
- 2頁 総施設長ご挨拶
- 3頁 「ボランティアってなあに」ボランティア講座
- 4頁 新人紹介
- 7頁 知事賞贈呈式・お詫び
- 8頁 「多摩に行くならこんな店」
- 9頁 後援会だより
- 10頁 ご寄付者名簿

鶴風会の四十年

社会福祉法人鶴風会 理事長

五島 瑳智子



帝国女子医専（東邦大学の前身）の卒業生の有志の長年にわたる努力が実って、東京小児療育病院が開院したのは、昭和三十九年（一九六四年）の春でした。

当時、周囲は畑地ばかりで、晴天の日には砂埃、雨が降ればぬかるみの道で、人家はなく、鶴風会のシンボルマーク、親子鶴の塔をはるか遠くから眺めることができました。

その頃はまた、障害児者が市民権を得ていたとはいえない時代でしたから、家族でさえもあからさまに世間の目に触れることも避け、また専門医も少なく、施設も極めて少なかったため、診断や対応も遅れていました。ご家族の苦労はどれ

ほど大きかったかはかり知れませんが、

この施設に入院できた障害児の中にさえ、ご両親が将来を憂うあまり、正月休みに家族のもとへ帰った時、悩み抜いたあげく、小さな命が絶たれるという傷ましい事件がありました。明るく、人なつっこいジュンちゃんというその男の子は、敬礼するのが大好きでした。施設の職員は、お預りしている子ども達を「うちの子」といって慈しんでいるのです。

この不幸に出会ったときの職員たちの悲しみと嘆きを、私は忘れることができませぬ。

創立の中心的役割を果たされた故龍知恵子先輩は、ご自身で多額の資金を拠出され、文字どおり東奔西走して、経済界から寄付を募り、卒業生有志の方々も多額の寄付を出し合って、ようやく開院に漕ぎつけました。その日は、秩父宮勢津子妃殿下のご臨席をいただき、激励のお言葉を下さいました。

当時の主たる目標は第一に社会から隔離されがちな障害児の「早期発見、早期治療」でした。この事業が先駆的な仕事

として当時、社会的にもとり上げられ昭和五十年には皇太子、妃両殿下（現天皇、皇后両陛下）が、ご来院くださいました。四十年の間に国や地方行政のあり方も、社会の認識も次第に好転し、関係施設や専門医療者も確実に増えていきました。

今、鶴風会はその理念として「私達は障害児者の生命機能の維持向上と生活援助のため誠実に積極的に取り組み障害児者とその家族を支援します」と掲げていますが、早期発見を掲げなければならなかった当初を顧みて、そこに四十年の推移をみる思いがいたします。

療育の内容は、医療者を含む全ての職員の「上質な心と技」によるものですが、家族との連携、協力も不可欠であり、影で応援してくださる後援会や、ボランティアの方々への継続活動にも感謝のほかばありません。

昭和六十年以降、鈴木康之院長の強力な指導により、全職員がごぞってその理念をもとに日夜従事していることを、創立以来関わってきた者の一人として誇りに思っております。

開院式後の披露宴(1964年)



↑ 故 中川富士氏 ↑ 故 秩父宮妃 ↑ 故 龍 知恵子氏

この度、初代理事長故龍知恵子先生、故森寿枝先生(二代)、本明登志子先生(三代)、現理事、倉島攝子先生(四代)、現会長の後を引き継ぐことになりましたが、今後、福祉事業に対する行政のあり方が、経済的に厳しい方向に行くことが懸念され、運営は容易ではないと思っております、微力ながら皆様と共に鋭意努力していきたいと思っております。

よろしく願いをいたします

総施設長 長岡 常雄

今年八月から鶴風会にお世話になることになりました長岡と申します。よろしく願いを致します。

私は大学を卒業した後、東京都衛生局（現福祉保健局）に就職して以来、公衆衛生医として保健所や都庁で仕事をしてきましたので、母子保健の関係では、東京小児療育病院にお世話になることも少なくなかったのですが、鶴風会と深く関わるようになりましたのは昭和六十一年から三年間の母子衛生課長時代です。当時の課題としては、乳幼児検健を充実することや、都立東大和療育センターの設立を準備すること、養護学校卒業後の通所施設を確保することなどでした。当時乳児死亡率は五・五を割り、世界で最良となり、おおむね母子保健の問題は解決したとして、行政の重点も母子から高齢者の問題へと変わりつつある時代でした。虐待児の問題は少しずつ表面化していましたが大きな問題とはなっておらず、社会もまた子供達への関心が薄れつつある状況でした。

東京都では委員会を開き、二年の準備期間をかけて、その有効性を確認し全都に導入することにしました。これが三歳児健診時の視力検査として全国に広まってきました。

一方、東大和療育センターの設立は、都には多くの入所希望者がおり、その早期開設が望まれていました。都の計画はすでにでき上がっていましたが、土地を所有する当時の大蔵省の理解を得ることは大変困難でした。当時重症心身障害児施設は入所が原則であり、多くは、交通の便が良好でない立地に建設されていた。

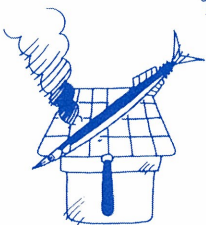
東大和療育センターのように交通の便が良い駅前に百二十人のための広大な土地を必要とするという理由を理解していただくのは大変なことでした。これからの重症心身障害児施設は通所など地域との交流を深める必要があること、また土地は看護学校を併設することにより有効活用することなどを説明し、やっと拙下を受け入れることができた時はほっといたしました。

養護学校卒業後の重症心身障害児者のための通所事業開始のいきさつは、鶴風会創立二十五周年記念誌にくわしく記載がされております。昭和六十二年に開始された、鈴木総括施設長を中心に始められた通所事業が、翌年東京都の通所事業のモデルとなり、後に国の通園事業A型のモデルとなって全国に広がっていきました。

私は当時厚生省の浅野障害福祉課長さん（現宮城県知事）が昭和六十三年にみどり愛育園の通所事業を視察された日のことをいまでもよく覚えております。私も都の担当者としてその場に同席させていただきましたが、担当の宮下さん（現通園科長）達が旧館のプールの上に板を敷いたスペースで通所事業に取り組みまれている姿を見て浅野さんがその必要性を認識していただいたのだらうと思っております。

その後私は他の分野に異動になりましたが、平成十三年に健康推進部長として再度障害を持った子供達の施策を担当することになりました。この時期は鶴風会が西多摩療育支援センターの開設を準備している時期であり、西多摩地域の親御さんのご希望をかなえるべく多くの困難を乗り越えて真摯に新たな事業に挑戦していく鶴風会の皆様の姿に深い感銘を受けました。

今回ご縁があつて鶴風会の一員に加えていただきました。鈴木先生が常に「お母さん方のお話をよく聞いて下さい！」「よく聞いて事業を進めて下さい！」と言われる利用者本位の基本を守っていききたいと思っております。今後ともよろしく願いをいたします。



「永年勤続者表彰式」

去る五月十二日、東京小児療育病院二十四名、西多摩療育支援センター五名の永年勤続者表彰式が行われました。おめでとうございます。

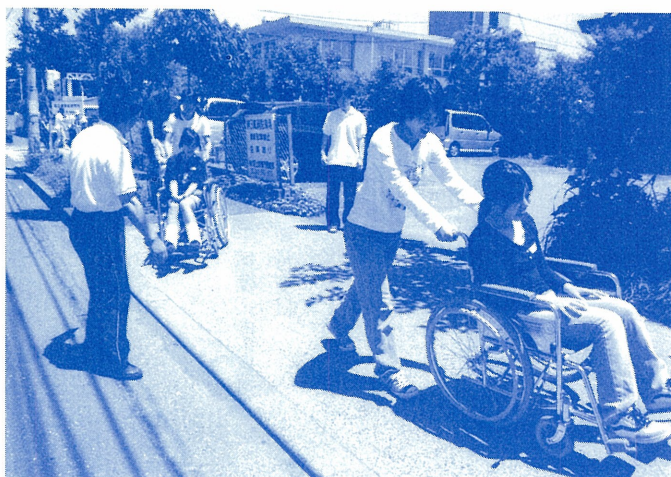


「ボランティアってなあに」

太田 紀子

なんだろう？よくわからないけれど、私にとっては生活の一部になっていきます。ずらん病棟の学習ボラとデイケアのお手伝いをしています。ふとした思い付きで、五年前の夏休みにずらん病棟の子ども達に会い、気軽に始めました。でも初めは子ども達とのかかわり方がむずかしく、とまどったり、勉強にならずに落ち込んだり、「またね」という言葉にほっとしたり。最近は勉強のペースができて問題を作る事が楽になりました。その問題を解く集中力に感心し、又、たし算の答が円から元、ドル、ユーロにまで広がる想像力をもっと伸ばしてあげたいなと思います。私も勉強させてもらっています。二十何年前に「ボランティアでもしようか」と不遜な考えで福祉作業所に行った私に「ここはね、楽しい所だから毎日来ていいんだよ。」と言ってくれた人の顔が浮びます。ボランティアは一方通行ではなくお互いのためにあることを気付かせてもらいました。

今、私を受け入れて下さる皆さんに、感謝です。



ボランティア講座 開催中！

今年度も六月より、初心者講座を六回シリーズで開講しています。内容も移動介助・コミュニケーション・食事介助・行事を通じた実践など、多岐にわたって行っています。

この講座を通して、ボランティアの皆様が安心して、より充実した活動ができるよう支援をしていきたいと思っています。ボランティアに関するお問い合わせは、庶務課高野・ケースワーカー大川まで。



西2 『遠足』

6月22日(火) 前日までの雨もすっかり上がり、真夏のような太陽が顔を見せる中、利用者4人は、バスで野山北公園へ。池の近くの木陰で昼食を取り自然を感じながらのんびりしました。

午後は歩いて「かたくり牧場」まで向かい、かわいいポニー達とふれあい。手をなめられたり、えさをあげたり、いやかな顔を見せる利用者もなく、皆リラックスしてよい表情でした。ぜひまた行きたいですね。

東2 『個別外出』

6月29日(火) 小金井公園内にある「江戸東京たてももの園」に利用者4人で行ってきました。

当日は30度を越える暑さでしたが、日傘を差しながら昔の東京にタイムスリップ！江戸時代から昭和初期にかけての民家や商店などを散策しながら周りを見て始終ご機嫌だった人、お母さんとゆったりのんびりして眠くなった人、江戸時代の家の中に入って薄暗さに少し不安げな表情になった人。お昼は高橋是清邸(茶店)で休憩、風通しのよい畳の部屋で横になり、暑さの苦手な人もホッと一息つきました。

ここは、宮崎 駿アニメ『千と千尋の神隠し』の舞台のモデルになった建物もいくつかあるちょっと不思議な異空間・・・ 皆さんも体験してみませんか？



「自己紹介」

① 氏名・所属
採用年月日・出身地
② 抱負

採用順・五十音順

東京小児療育病院・みどり愛育園

① 田澤玲子・医事課・埼玉県

H 16年 3月 1日

② 性格も見た目も?! 体育会系ですが患者さんには、いつも笑顔で応対できるように心がけたいと思います。

① 青柳恵美・歯科衛生師・東京都

H 16年 4月 1日

② 病院での勤務は初めてなので分からないことばかりですが、頑張ります。

① 青柳政則・作業療法士・大阪府

H 16年 4月 1日

② すみれ・すずらんとひまわり病棟を担当させていただいています。勉強不足のため、何かとご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いします。

① 浅井佳織・西一病棟・看護師・埼玉県

H 16年 4月 1日

② 天然ボケな私ですが、細かな配慮やケアができる看護師になれるよう頑張っていきたいと思っています。

① 飯森祐子・理学療法士・東京都

H 16年 4月 1日

② 色白に赤いほっぺたが特徴です。利用者さんと様々な楽しい訓練をしています。と思っています。

① 五十嵐明子・西二病棟・療育員

埼玉県・H 16年 4月 1日

② 好きな言葉は「気合い」です。全ての仕事を一つ一つ正確に丁寧にできるように頑張ります。

① 石田美加・西一病棟・看護師・群馬県

H 16年 4月 1日

② 趣味・音楽鑑賞(ジャンル問わず) まだまだ未熟者ですが、一生懸命頑張りたいです。

① 岩田鮎美・東二病棟・東京都

H 16年 4月 1日

② これからもっと成長して、常に利用者さんの事を考えて看護していきたいと思っています。

① 上野博子・東二病棟・療育員・東京都

H 16年 4月 1日

② 利用者の方が楽しい日々を送れるようがんばりたいと思います。

① 梅田加奈子・西一病棟・看護師

北海道・H 16年 4月 1日

② 毎日利用者さんからパワーを頂いています。私も持ち前の明るさを生かし、頑張っていきたいと思っています。

① 江夏 誼・東一病棟・看護師・埼玉県

H 16年 4月 1日

② 日々学習することが大切なので、自分の力になるよう実行していきたい。

① 江村久美子・東一病棟・療育員

神奈川県・H 16年 4月 1日

② 読書と珈琲を飲むこと。子ども達と楽しくゆったり過ごしていきたいです。

① 大梶真理・作業療法士・大阪府

H 16年 4月 1日

② 担当は西二病棟と東一病棟です。わからないことが多くて迷惑をおかけすると思いますが、楽しく頑張りたいです。

① 荻野由起子・庶務課・東京都

H 16年 4月 1日

② 趣味は、音楽を聴いたり好きなLiveを見る事。入職して3ヶ月、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。

① 小畑美里・東一病棟・看護師・東京都

H 16年 4月 1日

② 以前は埼玉の病院で働いていました。まだまだ慣れない事が多いですが、頑張っていきたいです。

① 加藤七実・理学療法士・宮城県

H 16年 4月 1日

② 興味はスノーボードとボードです。常に利用者さんのことを考えて、一生懸命訓練します。

① 櫛田ルナ・理学療法士・埼玉県

H 16年 4月 1日

② 全く異なる仕事から転身しました。慣れないことばかりでご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張ります。

① 後藤淳子・東二病棟・准看護師

静岡県・H 16年 4月 1日

② 一日に一度、利用者さんとの関わりの中で笑顔を見せてもらえるような関わり方を努力していきます。

① 佐々木千佳・西二病棟・療育員

東京都・H 16年 4月 1日

② 今は覚えることがたくさんある毎日ですが、自分のペースで頑張っていきたいと思っています。

① 佐々木友香・東二病棟・療育員

秋田県・H 16年 4月 1日

② 音楽が大好きなので、利用者さんと一緒に音楽を楽しみ、よりよい生活作りの手伝いができると思います。



①進藤公実・東一病棟・看護師・東京都
H16年4月1日

②病院から10分程度の所に住んでいます。四ヶ月過ぎ、毎日に慣れてきました。気を引きしめ努力していきたいと思いません。

①鈴木淳・西一病棟・療育員・神奈川県
H16年4月1日

②利用者さんの立場に立った関わりができるよう想像力を駆使して、支援できるような努力していきたいです。

①中野慶子・経理・栃木県
H16年4月1日

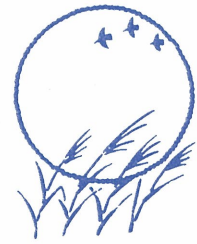
②趣味は音楽鑑賞でスポーツも大好きです。車中で気付くと大声で歌っている時があります。早く仕事を覚え頑張ります。

①名和田環・通園療育員・神奈川県
H16年4月1日

②小学生と中学生の娘がいます。音楽教育専攻ですが、施設の方と歌う仕事をしから、もっと多くのことを共感したいと思うようになりました。

①藤崎智成・西一病棟・療育員・東京都
H16年4月1日

②少し背が高い？かもしれないです。常に安全に気をつけて、頑張っていきたいです。



①南 綾子・作業療法士・東京都
H16年4月1日

②この病院に就職でき、とてもうれしく思っています。利用者さん、職場の方々とコミュニケーションを大切に頑張っていきたいと思えます。

①武藤由佳・作業療法士・秋田県
H16年4月1日

②歌、スポーツが大好きです。訓練では利用者の方に「楽しい」を感じてもらえるよう関わっていきたくと考えています。

①森澤めぐみ・東二病棟・療育員
群馬県・H16年4月1日

②利用者の方々が笑顔でいられるような支援をしていきたくと思います。

①山口 桜・東二病棟・看護師
神奈川県・H16年4月1日

②仕事を覚えて、看護にゆとりを持ちながら利用者さんと関われるように努力をしたいと思っています。

①山田ちづる・作業療法士・千葉県
H16年4月1日

②担当病棟は、すみれとすずらんです。頑張ります。

①山村智子・東二病棟・看護師・東京都
H16年4月1日

②今までの経験を活かしながらも、新しい環境でがんばりたいと思っています。

①米田恵・西二病棟・看護師・埼玉県
H16年4月1日

②勉強や経験をたくさん積み重ねて、よりよい看護が提供していけるように頑張りたいです。

①黒田美幸・西一病棟・看護師・長野県
H16年5月1日

②好きなものは、デイズニー全般、ミッキー。これから精一杯勤務し、たくさんの学びができたらしいです。

①下中佳純・西一病棟・看護師
奄美大島・H16年7月1日

②分からないことが多くあり、ドタバタと働いていますが、少しずつでも個性を理解し、関わっていけたらと思います。

西多摩療育支援センター

①赤間真哉・楽・療育員・大阪府
H16年4月1日

②大阪生まれの福島県育ち。地域性がまるで逆の環境で過ごし、生活期間の長い福島風のおっとりした性格に育ちました。

①井上明美・楽・療育員・東京都
H16年4月1日

②人と接することが大好きです。利用者さん一人一人との時間を大切にたくさんのお気持ちを学びたいと思います。

①井上 彩・理学療法士・北海道
H16年4月1日

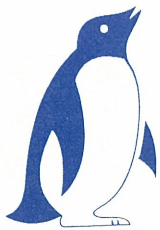
②免許を取得してまだ二年目です。わからないことだらけですが、新しい環境で日々成長できたら、と思います。

①石井麻衣・心理・東京都
H16年4月1日

②東京小児で非常勤として働いていました。4月から西多摩で心理は一人ですが、頑張っていけます。

①岩崎敦子・言語聴覚士・石川県
H16年4月1日

②いつも明るく、元気に、心をかけて、一生懸命頑張っていきたいと思っています。



① 碓井友美・もえぎ・療育員・東京都
H16年4月1日

② スポーツ大好きな身長一四八cmの小さな私です。日々楽しく、元気に頑張りたいたいと思います。宜しくお願いします。

① 遠藤保幸・診療所・看護師・東京都
H16年4月1日

② 障害児(者) 医療のエキスパートとして知識・技術を向上し、信頼されるよう努力していきます。

① 大久保初美・楽看護師・東京都
H16年4月1日

② 新しい場所、新しい環境、新しい仲間、気持ちを引きしめて、色々な事を学んでいきたいと思っています。

① 大野千鶴子・楽・療育員・岩手県
H16年4月1日

② 楽の名の通り利用者も職員も楽しく生き生きとした場所になれるよう、頑張りたいたいと思います。

① 岡田一美・作業療法士・愛媛県
H16年4月1日

② 去年は神奈川県に勤めていましたが、今年から西多摩の自然と暖かいスタッフの方々に囲まれて過ごせる事をうれしく思っています。

① 小斎 俊・もえぎ・療育員・東京都
H16年4月1日

② 私は大学まで野球をやっていて、昨年一年間秩父学園養成所で勉強してきました。まだまだ何も分からない新人ですが、一生懸命頑張りますのでお願いします。

① 坂本 舞・楽・療育員・東京都
H16年4月1日

② 今年2月まで老人保健施設に勤めていました。多くの人達との出会いを大切に楽しく仕事できたら良いと思っています。

① 鈴木 徹・もえぎ・療育員・東京都
H16年4月1日

② 今までは、専門学校に通いながら、障害のある方と関わっていました。まだまだ、分からないことだらけですが一生懸命頑張ります。

① 鷺見久美子・もえぎ・看護師・東京都
H16年4月1日

② 昭和40年乙女座O型・利用者さんの健康管理が適格にできるよう頑張ります。

① 関根佳代・もえぎ・療育員・東京都
H16年4月1日

② 家族は夫と子2人います。家に帰っても子供達の世話に手をやいています。体力には自信があります。明るく楽しくやっていきたいと思っています。

① 平 杏子・楽・療育員・東京都
H16年4月1日

② 一番はスノーボード、スキューバダイビングなどアウトドアな一面、お菓子作り(むしろ食べる事?)も好きです。

① 田中礼子・検査・東京都
H16年4月1日

② ?年か前に、前の西中を卒業し、なつかしく思いながら仕事をしています。いつも落ち着いて、笑顔でがんばります。

① 谷合久美子・もえぎ・療育員・東京都
H16年4月1日

② 子育ての経験を活かし、毎日元気に明るくたくさんの笑顔で利用者さんと接していきたいと思っています。

① 土橋桂子・診療所・看護師・東京都
H16年4月1日

② 地元のもろこし畑の中で成長しました。私らしくがんばっていきます。

① 仁科昌憲・楽・療育員・神奈川県
H16年4月1日

② 楽にきて4ヶ月が過ぎましたが、より良い援助が行えるようこれからも真摯な気持ちで努めていきたいと思っています。

① 西村祐子・コーディネーター・東京都
H16年4月1日

② いろいろな方との出会いを大切にしていきたいと思っています。

① 平野初江・書記・東京都
H16年4月1日

② 何事にも一生懸命に取り組む。

① 野内貴幸・診療所・看護師・茨城県
H16年4月1日

② 中学時代からたくさんの方と交流をもち、自分のしたい仕事をみつけ今年上京しました。未熟者ですが、指導して下さい。

① 山平政昭・楽・療育員・東京都
H16年4月1日

② 利用者様に安全で快適な生活環境の提供と提案に努めています。ノーマライズ社会の実現が私の夢です。

① 和賀富美代・検査・東京都
H16年4月1日

② 海が大好きな三児の母です。少しの間仕事をお休みしていましたが、また初心に戻り頑張ります。

① 立河央子・栄養科・東京都
H16年5月1日

② 栄養や形態だけの献立や食事ではなく利用者の方の声に耳を傾けていきたいと思っています。



① 本田好子・書記・鹿児島県

H16年5月13日

② 日頃から受診されます患者様のお一人お一人を、気持ちよく迎える事ができるように、心がけていきます。

① 木村美佳・楽・療育員・東京都

H16年5月24日

② まだまだ勉強不足ですが精一杯の気持ちを込めて頑張っていきたいと思えます。

① 計良由紀子・診療所・看護師・東京都

H16年6月1日

② 利用者の方一人一人に合った看護をしていけるように、頑張っていきたいです。

① 須藤征一・地域交流室・わらべ

東京都・H16年6月1日

② 今年3月をもって、都立あきる野学園を定年退職、4月より、わらべにてボランティアを頑張ります。

① 岩淵良也・楽・療育員・岩手県

H16年6月3日

② 旅行が好きですが、今は夜間学校に行っているのであきらめています。皆さんと共に仕事を頑張っていきたいです。

① 小林泰子・診療所・療育員・神奈川県

H16年6月7日

② 初心に戻って頑張ります。

① 西崎美子・楽・療育員・徳島県

H16年6月7日

② 利用者の方々の気持ちや考え方を模索しているような状態ですが、相手の立場になって仕事ができるといいなと思っています。

① 小谷広樹・楽・療育員・東京都

H16年6月14日

② 音楽を聴くこと、演奏すること、共に好きです。相手の立場に立った介護を目指して頑張ります。

① 山田 聡・楽・療育員・東京都

H16年6月18日

② 常に周りのすべての人達になにかを教わる気持ちで生きる。

① 新井洋子・書記・東京都

H16年7月1日

② 医療機関で働くのは初めてです。いろいろと至らない所があると思いますが、一生懸命頑張ります。

① 栗原寿江・楽・療育員・東京都

H16年7月1日

② スポーツが大好きで、特にバレーボールは、老若男女問わず健常・障害関係なくしてますのでよかったですら一緒にどうぞ!!

① 持田直子・診療所・療育員・福島県

H16年7月1日

② 特養に5年勤務しましたが、機会がありこちらの施設で働くことになりました。緊張の毎日ですが、可愛い子達と一緒にうれしいです。

「知事賞贈呈式」

1月23日、管理栄養士の大塚周二係長が、栄養改善及び公衆衛生の向上に多大の業績を上げられたとして、都知事賞を贈呈されました。おめでとうございます。

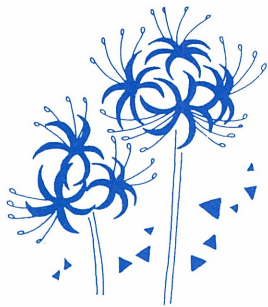


お詫び

バザーへのご支援をありがとうございます。

前号発行時、ご協力いただいております。次の方々のお名前が掲載もれとなっていました。謹んでお詫び申し上げます。

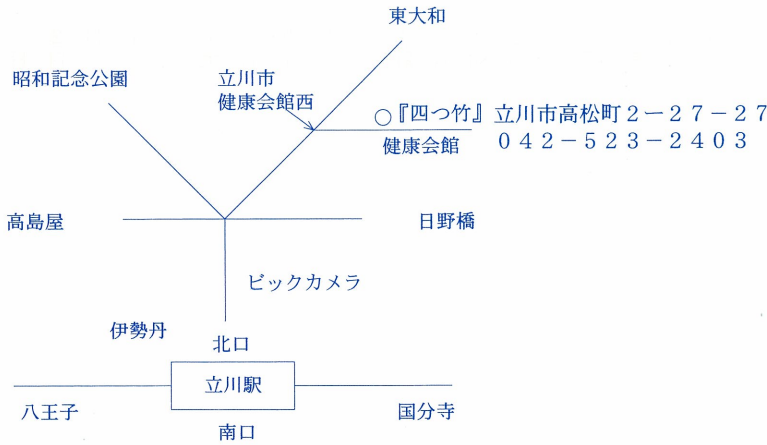
- 伊藤 治男 様
- 伊藤 雅子 様
- 小川 昭子 様
- アサヒビール(株)様
- アサヒビール(株)様
- アンデス(株)様



『多摩に行くならこんな店』

JR立川駅北口より歩いて 分の、「ライブ」沖繩家庭料理『四ツ竹』を紹介いたします。

東京小児に長年勤めていた職員が、店を出して早や3年、金曜日・土曜日はライブがあり舞台で歌や踊りを楽しみながら沖繩の家庭料理を堪能できます。アルコールの苦手な方は、ウコン茶などもあり、食事だけでもOK!



チャリティー・バザールのお願い

日時 平成16年11月14日(日) 場所 東京小児療育病院

昨年のチャリティー・バザールには、多くの方々の協賛会社のご支援によりまして、600万円余の純益をあげる事ができ、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願い致します。食料品、調味料、酒類、石鹸、洗剤、陶・漆器、文房具、書籍、衣料品(新品又は新品に近いもの)など御寄付をお願い申し上げます。

- 御寄贈品は既に受付けております。
年々、バザーの品々が減ってきております。ご協力よろしくお願い致します。
- 連絡先 病院 武蔵村山市学園4-10-1 042 (561) 2521
後援会 東京都中野区本町2-15-13 03 (3372) 7650

十六年度十月〜十七年度三月行事予定

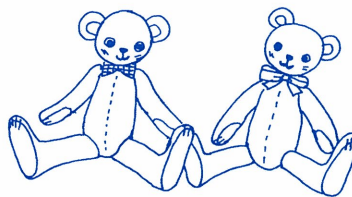
十月	5日(日) ハイキング	東2病棟
	6日(日) スポーツ大会	西2病棟
	7日(日) 運動会	通園
	8日(日) 日帰り旅行	西1病棟
	9日(日) アスレチック大会	東2病棟
十一月	4日(土) クラス発表会	通園幼少部
	5日(日) 忘年会	西1病棟
	6日(日) クリスマスパティー	通園青年部
	7日(日) クリスマスマス会	西1病棟
	8日(日) " "	東1病棟
	9日(日) " "	東2病棟
	10日(日) " "	西2病棟
十二月	1日(日) 新春を祝う会	東1病棟
	2日(日) " "	西1病棟
	3日(日) " "	西2病棟
	4日(日) " "	東1病棟
	5日(日) " "	東2病棟
	6日(日) " "	通園青年部
	7日(日) " "	西2病棟
	8日(日) " "	東2病棟
	9日(日) " "	東1病棟
	10日(日) " "	通園青年部
	11日(日) " "	西2病棟
	12日(日) " "	東2病棟
一月	1日(日) 餅つき	通園幼少部
	2日(日) 餅つき	通園青年部
	3日(日) 餅つき	西1病棟
二月	3日(木) 節分	東1病棟
	4日(金) " "	西2病棟
	5日(土) " "	通園
	6日(日) " "	通園青年部
三月	3日(水) ひな祭り	通園幼少部
	4日(木) 発表会	東1病棟
	5日(金) 発表会	西2病棟
	6日(土) 発表会	東1病棟
	7日(日) 発表会	西2病棟
	8日(月) 発表会	東2病棟
	9日(火) 卒園・終了式	通園幼少部

「編集後記」

季節が移り変わってやっと新人紹介ができました。

さて、これまで『後援会ニュース』、『はぐくむ』にかかわってくださった、本田由利さん、この号を最後に離れます。

長い間、ご苦労様でした。





社会福祉法人鶴風会 後援会だより

水上 勉氏と鶴風会

四十周年の鶴風会に

二〇〇四年九月、水上勉氏の逝去が報じられた。八十五才。

水上氏は、昭和三十八年、東京小児療育病院が開院準備の最中、「療育園のあゆみ」第三号（鶴風会の広報誌）に、原稿を贈って下さった。当時立遅れていた日本の障害児への取組みの貧しさの中で、鶴風会が目指している困難な仕事に共感とエールを込められた寄稿文である。感謝と共にその記事を掲げ心からご冥福をお祈りします。

——気持ちだけの金メダル——

社会福祉法人 鶴風会
評議員 井上 和子

四十年前の一九六四年、東京五輪の年。大変な感動で迎えた記憶がある。

二〇〇四年、アテネで開催されたオリピックでも、連日選手の活躍が報道される度に無条件に感激した。

選手は、天賦の才に多くの努力と練習を積んでいたことは想像していたが、具体的な内容は知る由もなかった。その一端が紹介されていた新聞記事でさら

に感銘を深くした。

例えば、開会約一ヶ月前に左足首を負傷した柔道の谷亮子選手は、毎日腕立て伏せを千回していたとあり、他にもこの数字に匹敵する練習をしていたに違いない。

競泳の柴田亜衣選手は毎日二十km泳いでいた。その数字を見ただけで、気が遠くなるような練習であり、才能も必要であるろうが、人より何倍も練習する努力と体力、継続する根気を持つ人だけに許される晴れ舞台が五輪であると思ふ。そして、三大会連続して金メダルを手にした野村選手においては、そのような内容の練習を十二年以上継続して世界一を保持していることを思うとき、賞賛の言葉がみつからない。

東京小児療育病院は今年創立四十周年

純子は
あかちゃん
水と
うさぎ

肢体不自由児の施設が足りないといわれていながら、政府も、民間も、この問題を四つに組んで、実現してゆこうという人は、どこにも見当たらなかった。私が、池田総理に書き送った文章は、私の歩けない子の将来を政府が見てくれないのなら、私が汗水たらして、働いた金の

中から、年額一千万以上の税金ない子、つんぼの子、二三重苦にあえぐ重症身障児をもった全国幾万の父母は、あずけるに施設なく、育てるに力なく、税金苦の毎日生きておられる。

すぐに施設を充実するためにあなたの税金を廻すことは出来ない。私だけに、平均毎日五通のそなたに届くが、それらは、すべて政府の無策に憤り、すべ

く考えこんでおられる哀れな文章に満ちているのである。さいきん、私は、鶴風会の龍さんが永年の努力の末に、村山に脳性小児マヒを主とした療育施設設立に成功され、ゆくゆくは三百人ぐらいの、療護施設から締めだされた子たちを入院

させ、脳性小児マヒ研究所も併設されるというのを聞いて信じ難かった。しかし、係りの方に、その青写真をみせられ、苦の努力が、どこから発展していったか、よく眺めていただく一粒の種子が撒かれたことを知っている。厚生省は世田谷に大きな児童専門病院を建てる計画だという。私の返事にもそれはあった。しかし、いつ、それが建てられるのか。未だにツチの音を聞かない。龍さんをはじめとする「鶴風会」の人びとの汗と血の力が勝つたのであろうか。願わくば二三重苦の重症身障児にも、早く陽の目をあててやりたいものである。鶴風会の皆さん、ありがとう。（筆者みなかみつとむ氏は作家写真執筆者の水上氏）



「鶴風会」の人びとの汗と血の力が勝つたのであろうか。願わくば二三重苦の重症身障児にも、早く陽の目をあててやりたいものである。鶴風会の皆さん、ありがとう。（筆者みなかみつとむ氏は作家写真執筆者の水上氏）

四十年間、この領域のパイオニアとしての役割を果たし今日に至っており、内外からの支援があったとはいえ、大変な偉業である。

私が当施設の評議員になって以来の十数年に限って、停滞することなく、息つく暇もない様子である。

当施設の活動を五輪に例えるのは適当ではないかもしれないが、長い期間先頭を走ることの大変さを思うとき、施設運営を担当された方々に頭が下がる思いをするのは、私一人でないと思う。折に触れ、創立者の意志を大切に、時代の要請に沿うよう努力される様は、利用者及び家族ならずとも「有り難い」の一言では済まされない感謝の気持ちで一杯になる。そこで、皆様に金メダルという発想が浮かんだが、何が金メダルであるか、名案は浮かばず、凡才にして知力も金力もない私は結局、相変わらずの役立たずであることを思い知った次第である。

—— チャリティ コンサート —— 第5回オルフェの会への御案内

出演 二期会 マイスター ジンガー
日時 平成16年12月5日（日）
12時より開宴（受付11時）
ところ 新高輪プリンスホテル
会費 25,000円
連絡先 042-561-2521「オルフェの会」係

